

**令和6年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修
(本年度実践コース) 実施要項**

1 目的 各高等学校が実施する授業力の向上をめざす組織的な取り組みを、中核的な立場として推進していくための実践的手法を習得する。

2 対象 高等学校の教員

募集人数 40名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	5月13日(月) 14:00~17:00	学校全体でめざす授業力の向上 —組織的な授業改善の意義とリーダーとしての役割— 校内の取り組みを具体化する —計画と目標の明確化— —校内研修の具体的な進め方— 〔講義・演習・協議〕	大阪府教育センター 指導主事等
2	8月5日(月) 14:00~17:00	研究授業を効果的に進めるために —実践事例から学ぶ— —研究授業・協議の具体的な進め方— 実践を評価し改善する —各校の取組みの中間報告— 〔講義・演習・協議〕	大阪府教育センター 指導主事等
3	1月20日(月) 14:00~17:00	実践を総括する —各校の取組みの成果報告— 実践を引き継いでいくために 〔協議・演習・講義〕	大阪府教育センター 指導主事等 京都大学大学院 准教授 石井 英真

4 会場 大阪府教育センター(大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。

6 担当室 高等学校教育推進室

個別募集

令和6年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修
(本年度実践コース) シラバス

1 目的

各高等学校が実施する授業力の向上をめざす組織的な取組みを、中核的な立場として推進していくための実践的手法を習得する。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期							○	○	○	○	○	○			
第3期							○	○	○	○	○	○			
第2期							○	○	○	○	○	○			
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	学校全体でめざす授業力の向上 －組織的な授業改善の意義とリーダーとしての役割－	学校全体で授業力の向上をめざす意義と、中核的な立場としてその取組みを推進していくことの重要性について理解を深める。	講義・実践動画の視聴及びそれに基づく協議・演習を通して、組織的な授業改善の意義について確認し、自校における取組みを推進していくために必要な要素について考える。	準備物 「実践計画書」 事前課題 ・実践動画を視聴する。 ・「実践計画書」を作成する。 ※詳細については別途連絡
	校内の取組みを具体化する －計画と目標の明確化－ －校内研修の具体的な進め方－	自校の取組みを見直し、校内研修を具体的に進めていくための手法を身に付ける。	事前課題で作成した「実践計画」を見直し、特に目標を明確化するなど、改善を行うとともに、校内研修を進めるための事前準備や進行の工夫などについて学ぶ。	
2	研究授業を効果的に進めるために －実践事例から学ぶ－ －研究授業・協議の具体的な進め方－	研究授業・協議の効果的な進め方について理解を深める。	講義・実践動画の視聴及びそれに基づく協議・演習を通して、研究授業・協議のポイントや自校の取組みに生かす工夫を考える。	準備物 ・「実践計画書」 ・中間報告に必要な資料 事前課題 実践動画を視聴する。

	<p>実践を評価し改善する —各校の取組みの中間報告—</p>	<p>自校のこれまでの実践の成果と課題を認識し、今後の改善に生かすことができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各校の計画に基づいた実践及びその成果と課題についてグループで報告・交流する。 今後、自校の取組みを活性化させていくための工夫を考える。 	<p>※詳細については第1回で連絡</p>
3	<p>実践を総括する —各校の取組みの成果報告—</p>	<p>自校の年間の実践の成果と課題を認識し、今後の改善に生かすことができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校のめざす姿につながるカリキュラム・マネジメントの在り方について再確認し、自校の取組みを振り返る。 各校の計画に基づいた実践及びその成果と課題についてグループで報告・交流する。 	<p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> 「実践報告書」 成果報告に必要な資料 <p>事前課題</p> <p>「実践報告書」を作成する。</p> <p>※詳細については第2回で連絡</p>
	<p>実践を引き継いでいくために</p>	<p>今年度の実践を効果的に次年度に引き継いでいくための見通しを持つ。</p>	<p>協議を通して、今年度の実践を効果的に次年度に引き継いでいくために必要な要素について考え、成果と課題を踏まえた、次年度の計画を具体的に検討する。</p>	